

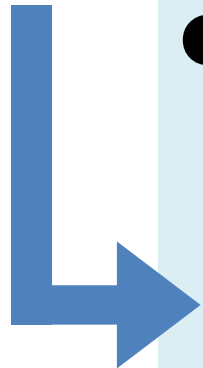
演習の進め方

令和元年8月29日

令和元年度 荒川下流域を対象としたタイムライン専門部会(運用訓練)

1. 演習の目的

タイムライン関係機関において改めて防災行動を確認し、
防災行動の実施方針のイメージを明確化すること



●タイムライン（拡大試行版）の適用時の

- ・仕組み、流れ
- ・伝達、共有する情報（気象・水文情報）
- ・これらの情報の読み解き方

を理解する

- タイムライン（拡大試行版）の模擬適用を体験する
- タイムラインを見直し、内容の充実を図る

2. 演習の方法

①演習事務局：擬似的な時系列の気象・水文状況情報を付与

②タイムライン関係機関（プレイヤー）：付与された情報に対して
タイムラインの防災行動が「適切か」、「見直しの必要が無いか」
を確認

3. 演習の流れ

(1) 演習事務局が
 ■ TLLレベル(及び目安の時刻)を状況付与
 ■ 当該TLLレベル(及び目安の時刻)で伝達共有する気象・水文情報を状況付与
 (その読み解き方を説明)

(2) 対応行動の検討
 ・ 行動の確認、検討
 (演習事務局から進行管理上のコメントやプレイヤーによる模擬広報なども実施)

演習事務局からプレイヤーへの質問(必要な箇所)

次のTLLレベル(及び目安の時刻)の状況付与

| TLLレベル | 目安の時刻など | 作業番号 | 概ねの進行時間 13:25~15:20 | 合計(分) | | |
|--------|-----------------|------|------------------------|-------|------|---|
| | | | | (1)分 | (2)分 | |
| - | 状況説明 | ① | 13:25~13:35 | 10 | 10 | 0 |
| | 状況検討 | ② | 13:35~13:40 | 5 | 5 | 0 |
| - | 情報共有 ツール説明 | ③ | 13:40~13:50 | 10 | 10 | 0 |
| - | 状況共有 | ④ | 13:50~13:58 | 8 | 8 | 0 |
| 1-2 | -18H | ⑤ | 13:58~14:10 | 12 | 8 | 4 |
| | -14H | ⑥ | 14:10~14:22 | 12 | 8 | 4 |
| 2 | -11H | ⑦ | 14:22~14:32 | 10 | 5 | 5 |
| | -8H | ⑧ | 14:32~14:40 | 8 | 5 | 3 |
| | (-6H) | | | | | |
| | -4H | ⑨ | 14:40~14:47 | 7 | 4 | 3 |
| 3 | -3H | ⑩ | 14:47~14:54 | 7 | 4 | 3 |
| | -1H | ⑪ | 14:54~15:01 | 7 | 4 | 3 |
| 4 | 0~YH | ⑫ | 15:01~15:09 | 8 | 4 | 4 |
| 5 | XH (X1~3は割愛) | ⑬ | 15:09~15:18 | 9 | 6 | 3 |
| - | 適用終了 | ⑭ | 15:18~15:20 | 2 | 2 | 0 |

4. 演習上のみなさんの役割

■演習事務局

構成：荒川下流河川事務所
東京管区气象台

役割：タイムラインの時系列の気象・水文情報の状況付与
演習進行管理



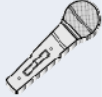
⇒タイムライン適用中に伝達・共有される気象・水文情報についての説明
⇒演習進行管理、プレイヤーへの質疑や行動の促し等のコメント

■プレイヤー

構成：タイムライン関係機関

役割：自機関のタイムライン上の防災行動を確認（確認、検討）

⇒付与される気象・水文状況に応じて…

| | | |
|--|---|--------------------------------------|
| A 実施が適切と判断できた 防災行動の場合 | 情報共有 ツールに  | 該当する防災行動の欄に「実施した」ものとしてチェックを入れる |
| B 実施すべき防災行動が『タイムラインに無い』または『対応行動の内容を修正したい』場合 | A3用紙 に  | 該当する防災行動の欄にフセンで追加・修正内容を記入する |
| C 実運用で行う避難勧告等や災害広報の防災行動の場合 | 会場に  | マイクで模擬伝達・広報を実施する（マイクが必要な方は拳手をお願いします） |

4. 演習上のみなさんの役割

A 実施が適切と判断できた防災行動の場合

情報共有ツール

- ・該当する防災行動の欄に「実施した」ものとしてチェックを入れる



The screenshot shows the '荒川下流タイムライン' (Arakawa Lower Stream Timeline) web application. At the top, it displays the title and the user 'A0202様(荒川下流河川事務所)'. Below this, there are navigation icons and a red banner indicating the current level and time: 'レベル1-1[-48H] 11/28 17:07~'. There are buttons for '前の機関' (Previous Agency) and '次の機関' (Next Agency), with '荒川下流河川事務所' selected. Below these are dropdown menus for 'レベル1-1' and '-48H', and status buttons for '未着手' (Not Started), '実施中' (In Progress), and '完了' (Completed). The main content area is titled '荒川下流TL運用' (Arakawa Lower Stream TL Operation) and lists several tasks with plus signs to the right: '荒川下流TL上のレベル(及び目安の時刻)を設定' (Set level and reference time on Arakawa Lower Stream TL), '関係者へ伝達' (Notify related parties), '外部への広報(HP, twitter)' (External communication via HP, twitter), and '対応状況の共有(取り組んだこと、見送ったこと)' (Share response status). Below this is a section for '各種情報の収集・確認' (Collection and confirmation of various information), with a sub-section for '台風情報および気象情報の発表、収集・確認' (Release, collection, and confirmation of typhoon and weather information). A specific task '台風情報および気象情報の収集・確認' is highlighted in orange, and its status is set to '完了' (Completed) with an 'OK' button.

This is a close-up screenshot of the task '台風情報および気象情報の収集・確認' (Collection and confirmation of typhoon and weather information). The task name is highlighted in orange. Below the task name, there are radio buttons for '未着手' (Not Started), '実施中' (In Progress), and '完了' (Completed). The '完了' (Completed) radio button is selected. To the right of the radio buttons is an 'OK' button.

※詳しい動作方法は
演習中に説明を行います

The footer of the web application shows social media icons for YouTube and Twitter, followed by the URL 'http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/'. Below this is a 'Page Top' button and a navigation bar with the text 'タイムラインってやつですね。' (That's the timeline thing, right?) and '荒川流域' (Arakawa River Basin).

4. 演習上のみなさんの役割

B 実施すべき防災行動が『タイムラインに無い』または『対応行動の内容を修正したい』場合

防災行動の追加

- ① NO.34の下
- ② ○○への対応
- ③ 行動主体：(株)◆◆
行動協力者：□□区
- ④ ●●のため

防災行動の追加

- ① 追加したい場所を記入
(NO●●の下など)
- ② 防災行動(細目)を記入
- ③ 行動主体(◎)と
行動協力者(○)を記入
- ④ 行動追加の理由

修正点

- ① NO.34
- ② 「・・・」に修正
- ③ ●●のため

修正点

- ① 修正対象のNO記入
- ② 修正の内容
- ③ 修正の理由

4. 演習上のみなさんの役割

C 実運用で行う避難勧告等や災害広報の防災行動の場合

ホームページ、テレビ、メール、防災無線などにより
地域や関係者全体に向けて伝達している情報

⇒マイクで会場全体へ伝達・広報を模擬的に実施してください



- ・マイクが必要な際は挙手をお願いします
- ・演習事務局がマイクをお渡しします

5. 演習で対象とするハザードの想定

荒川下流タイムラインの想定するハザード設定と
同様なものを想定します

- 資料3 : 演習シナリオ
※荒川下流タイムラインの想定するハザードの内、
風速は一部修正(暴風警報発表中の風速を1.3~1.5倍)
- 資料4 : 荒川下流タイムライン(拡大試行版)【2019年版】

(本演習では、上記で設定したハザード想定以外に被害箇所や被害者数等の状況付与はありません。)

6. 演習の補足

演習時間が短いことから、ホットライン全般は実施しないこととします